

総務民生委員会

養老町個人情報保護条例等の一部改正

問 一部改正の具体的な内容は。

答 町独自利用事務の情報連携について新たに加えられた。

養老町職員等の旅費に関する条例の一部改正

問 日当の廃止による経費の積算は。

答 一般会計で前年度比367万2千円の減。

養老町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

問 旧ビニプラのゴミ袋は使用できるのか。

答 ストックしてあるものはすべて使い切るまで有効。

平成28年度養老町一般会計補正予算

問 山口俊郎著作権料の動向は。

答 年度によって大きな開きがあり、カラオケで多く歌われたりCD販売枚数等により変動する。

平成28年度養老町介護保険事業特別会計補正予算

問 地域密着型介護サービス給付費負担金増の要因は。

答 3事業所が地域密着型介護サービス事業所に変更になったため。

産業建設委員会

養老町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定

問 本条例に係る町内の企業数は。

答 町内事業所の98%ほどと推測される。

問 企業への支援内容は。

答 労務対策費補助金、地域活性化事業補助金、経営発達支援計画支援事業、中小企業の総合振興支援事業など。

問 商工会に未加入の企業でも適用されるのか。

答 適用される。

養老町非常勤の特別職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

問 農地利用最適化推進委員の月額基本額9千円にした根拠は。

答 農業委員の月額基本額が3日の活動日数で1万1500円を基準に、農地利用最適化推進委員の活動日数を2・5日と想定し9千円と設定した。

問 農業委員の青年や女性の方の確保は。

答 非農家、女性、青年層の方の応募もあった。

平成28年度養老町一般会計補正予算

問 有害鳥獣駆除事業費減の要因は。

答 計画に対して県からの個体数調整配分等が少なかったため。

予算特別委員会

平成29年度養老町立食肉事業センター特別会計繰入れ

問 今後の繰入額の見通しは。

答 事業収入は年々減少傾向にあり、経費を精査しながらこれ以上繰入額を増やさないような運営につとめたい。

平成29年度養老町一般会計予算

問 養老改元1300年プロジェクト事業の概要は。

答 新生養老まちづくり構想進行管理事業、ひょうたん活性化事業、養老改元1300年本祭事業の大きな3つ

の主要事業費で1億6162万6千円。総事業費は2億1098万9千円。主なものとして、養老の滝ひょうたんイルミネーション総事業費3644万円、養老改元フェスタ総事業費3539万8千円。地方創生推進交付金や清流の国づくり推進補助金等を活用し財源確保に努めている。

問 地域自治町民会議の現状は。

答 設立されている上多度・笠郷地区は、既存の各種団体への補助金について協議し、町民会議へ一括交付できるものは集約した。まだ設立されていない地区については、広幡地区は平成30年4月設立に向けて設立準備委員会が立ち上げられ、他の地区も説明会や勉強会を開催しており、今後も積極的に取り組んでいきたい。

平成29年度養老町介護サービス特別会計予算

問 介護サービス管理事業について、iPad使用中の理由は。

答 医療機関が使用していた情報かなり高度でほかの多職種連携に使用することが難しいと判断した。

平成29年度養老町後期高齢者医療特別会計予算

問 後期高齢者医療の対象者増加見込みは。

答 4260人で120人増の見込み。



問 家族介護支援事業の内容は。

答 要介護4・5で介護サービスを利便せず在宅介護している家族の方が対象。

平成29年度養老町立食肉事業センター特別会計予算

問 新食肉基幹市場新設の状況は。

答 県下を5ブロックにわけて42市町の負担割合を検討したが合意には至らず引き続き協議を進めている。

平成29年度養老町住宅新築資金等貸付特別会計予算

問 不納欠損の考え方は。

答 時効成立しているものの中で、時効の援用がされたものについて不納欠損を行う。それ以外は訴訟も含めて

問 災害備蓄品の内容は。

答 栄養調整食品が3200食、アルファ米が2000食、缶詰が1200食、水が1800リットル、災害用トイレが22基。

問 小学校情報化推進事業のLAN整備は全校となっているがタブレット整備については。

答 各校順次整備していくと整備期間が長くなるため、平成29年度はLAN整備を未整備の学校で行い、そのあと一括でタブレットを整備する予定。

平成29年度養老町国民健康保険特別会計予算

問 平成30年度からの広域化に伴う保険の見直しは

平成30年度から

問 まるごと肉まつり養老の詳細は。

答 養老公園第2駐車場にて2日間の開催で、出店者数は24店舗程度を予定。出店者は町内店舗を中心とするが、町内の精肉業者等を通じて他市町の出店者も募っていききたい。パークキュー場の設置や、ステージイベントの開催も予定している。

問 東海環状自動車道促進事業の開催時期は。

答 時期は国が平成29年度としか公表していないため未定だが、1300年祭とからめて実施出来るよう早期の開催を要望している。内容はシンポジウム、ハイウェイウォーキング等を予定している。事業費は1050万円。実行委員会を立ち上げ、委員の様々な意見を聞きながら進めている。

問 養北認定こども園整備事業の予算内訳は。

答 主に池辺育心会に対する整備補助金として4億2598万5千円、第4期工事請負費として699万8千円。事業総額は6億1300万円であり、差額を池辺育心会に福祉医療機構の融資を受けていただいて負担をお願いする。平成30年度以降に、福祉医療機構融資予定額の2分の1を町から償還金補助する予定であるが、少子化や運営の状況を鑑み見直す可能性もある。

問 農地利用最適化推進委員新設による報酬の増額分は。

答 1人あたり月額基本給9千円、加算額1300円であり、26人分の9ヶ月分で合計241万2百円。